

● 日本の主な火山活動

御嶽山の火山活動は低下してきており、2014 年 9 月 27 日と同程度、またはそれを上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっている。一方、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。3 月 31 日 10 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル 3（入山規制）を継続しつつ、警戒が必要な範囲について、新たな火口列の中心から概ね 2 km 及び南西側（地獄谷方向）2.5 km の範囲に縮小した。火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒が必要である。これに加えて地獄谷方向では火口から概ね 2.5 km まで火砕流に警戒が必要である。

桜島では、爆発的噴火が過去最多の 178 回発生するなど活発な噴火活動が継続した。31 日 07 時 27 分に桜島島内を震源とする地震（マグニチュード 2.8）が発生し、鹿児島市東郡元及び鹿児島市祇園之洲町で震度 1 を観測した。昭和火口及び新岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

口永良部島では、噴火は発生しなかったが、火山性地震が時々発生し、火山ガスは多い状態で経過している。また、24 日から 31 日の夜間にかけて、高感度カメラで火映を観測したほか、上空からの観測では、新岳火口西側部分の熱異常域内で温度の上昇が認められた。以上のように火山活動の高まりがみられており、今後、爆発力が強い噴火や規模の大きな噴火に移行する可能性がある。新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒が必要である。

西之島では、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続し、新たな陸地の拡大が続いている。今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがあるので、西之島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒が必要である。

吾妻山では、16 日に大穴火口の北西側で、これまで見られなかった融雪域と弱い噴気を確認した。火山性地震はやや多い状態で経過している。大穴火口から概ね 500 m の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められるほか、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられている。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山では、中岳第一火口で、断続的に噴火が発生している。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、20 日から 26 日にかけて、新燃岳火口直下を震源とする火山性地震がやや増加した。北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられる。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、火山性地震が時々発生している。表面現象に異常は見つかっていないが、地震活動が継続しているので、えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島では、5 日にごく小規模な噴火が発生した。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

表 1 3月31日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
 （※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	御嶽山、桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山、三宅島、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、浅間山、新潟焼山、焼岳、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	平常	上記以外の活火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 3月31日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 27 年 3 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	火口周辺警報	31日 10時00分	噴火警戒レベル3（入山規制）を切り替え、警戒が必要な範囲を新たな火口列の中心から概ね2km及び南西側（地獄谷方向）2.5kmの範囲に縮小。
		火山活動解説資料		
		解説情報 第49号～52号	6日、13日、20日、 27日 16時00分	

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	降灰予報	4日 23時13分 12日 13時10分 13日 03時07分 17日 06時53分 27日 08時09分 27日 09時43分 27日 16時41分 28日 07時55分 28日 12時38分 28日 16時54分 29日 17時13分	噴火に伴い、降灰が予想される地域を発表。
		解説情報第 19 号～27 号	2日、6日、9日、 13日、16日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	爆発的噴火による大きな噴石の飛散状況。傾斜計・伸縮計・地震回数等火山活動の状況。
		解説情報第 28 号	31日 10時30分	31日に発生した桜島島内を震源とする震度1の地震の状況等。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報第 18 号～24 号、 第 26 号、第 27 号	2日、6日、9日、 13日、16日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。 現地調査の状況。
		解説情報第 25 号	25日 11時15分	24日夜から25日の明け方にかけて観測された火映の状況。
		火山活動解説資料	26日 14時30分	上空からの観測の状況。
吾妻山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報第 19 号、20 号、 22 号、23 号	2日、9日、23日、 30日 16時00分	噴煙・傾斜計・地震回数等火山活動の状況。
		解説情報第 21 号	16日 16時00分	16日に確認した新たな融雪域と弱い噴気の状況。上空からの観測の状況。
		火山活動解説資料	16日 17時00分	
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報第 12 号～15 号	6日、13日、20日、 27日 16時00分	傾斜計・地震回数等火山活動の状況。 上空からの観測の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報第 17 号～25 号	2日、6日、9日、 13日、16日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	噴煙等噴火活動の状況。火山性微動・空振の状況。現地調査の状況。
		降灰予報	5日 12時03分 5日 15時16分 6日 06時03分 6日 09時15分 20日 11時57分 20日 15時11分 20日 19時08分 21日 01時15分 21日 03時08分 26日 11時00分	噴火に伴い、降灰が予想される地域を発表。
霧島山（えびの高原（硫黄山）付近）	火口周辺警報 (火口周辺危険)	解説情報第 17 号～25 号	2日、6日、9日、 13日、16日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	地震回数等火山活動の状況。
霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報第 1 号～3 号	23日 11時10分 27日、30日 16時00分	20日から増加した火山性地震の状況等火山活動の状況。現地調査の状況。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

この他、三宅島においては毎日 07 時と 17 時に火山ガス予報を発表している。

阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島においては、24日 14 時より毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。